



昭和レトロ風な雰囲気の小宿を夫婦二人で営んでおります。お食事は垂水産の食材を中心に自家製米・味噌等使用しております。昔懐かしい五右衛門風呂に浸かり囲炉裏を囲みながらゆっくりとお過ごしください

お1人様1泊2食付 8,800円(税込)～  
**古民家の宿たるみず**  
 TEL 0994-32-4649  
 住所 鹿児島県垂水市浜平2096-1  
 (道の駅たるみずはまびらより歩いて2分)  
 お問い合わせ info@kominka-tarumizu.com

# 第7回 たるみず歴史・文化散歩 薩摩の武士が生きた町 『垂水麓』を歩く

**令和元年5月、垂水小学校** 付近を中心とした垂水麓が日本遺産に認定されました。日本遺産とは各地域の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定し、魅力ある有形・無形の文化を活用し、地域の活性化を図るものです。

『城をもって城とせず、人をもつて城となす』薩摩藩では独自の外城制度が作られ、藩内を細かく分けた集落に武士を住ませました。武士は農業の傍ら武芸に励み、いざという時に備えたのです。このような武士集団の集落を「麓」といいます。

と言ひ、多い時には藩内に約120の麓がありました。県内で11カ所の麓が日本遺産として認定され、大隅半島では志布志麓と垂水麓が選定されました。垂水には、垂水麓のほか牛根麓と新城麓があります。

垂水麓に残る文化遺産には、代表的なものに、お長屋、垂水島津家墓地、お殿加神社、垂水人形などがありますが、そのほかにも有形、無形の残すべきものが多くあります。麓に残る馬場（乗馬を行う土地）や麓言葉、独特の習慣、郷土料理などです。今回の歴史・文化散歩では、馬場（通り）について紹介したいと思ひます。

## 垂水市訪問給食サービス

**事業概要**  
 栄養のバランスのとれた食事を提供することにより、健康を維持しながら自立した生活ができるように支援します。

**対象者**  
 垂水市に居住するおおむね65歳以上の在宅高齢者または心身障害者。

**基本料金**  
 1食 700円

**助成・料金等**  
 所得に応じて市から助成があり、利用者負担としては、340円、430円、580円、700円の4段階となります。  
 ※詳細は市役所福祉課(32-1115)へお問い合わせください。

○昼食・夕食の配達をします。  
 ○1食からでもお届けします。  
 ○カロリー計算をされたお弁当です。  
 ○年末年始以外、年中無休です。  
**垂水市訪問給食サービス**  
 (南木場商店給食部) 電話：0994-32-6071

～コロナ禍の今 ハガキでのご挨拶はいかがですか～

### 年賀状印刷 喪中ハガキ

少枚数も承ります 2021年丑年

宛名書きも致します。

☎0994-32-0315

- 喪中・年賀状印刷見本を準備致しております。
- 郵便官製ハガキあります。

**(有)垂水中央印刷**  
 垂水市栄町53番地 TEL:32-0315 FAX:32-0107  
 ■営業時間：平日(月～金) / AM 8:30～PM 6:00  
 12月の土曜 / AM 9:00～PM 1:00  
 休日もお電話頂ければ受付致します。

**犬之馬場通り**  
 垂水小学校前の通り。犬追物は鎌倉時代に始まり、流鏑馬に似た武芸で、的が犬だった。江戸時代、垂水島津家の殿様が本藩でその腕前を披露したという記録がある。

**中馬場通り**  
 光源寺（垂水島津家の客殿があったところ）前の通り。その東側は馬場頭と呼ばれる。

**早馬通り**  
 中馬場と松原の間にある通りで、垂水2代領主・以久が徳川家康に宮崎の佐土原3万石を拝領し、垂水から50人の家臣を従わせ、代わりに佐土原から50人の武士団がここに住み着いた。



**本住坊通り**  
 垂水市市民館から市立図書館に至る通りで、約350年前、新城島津家の菩提寺の僧（本住

坊）がこの辺りに住んでいたことから名づけられた。その後50年ほど経て華厳寺という寺が建てられたが、明治の廃仏毀釈により墓地だけが残された。その後、墓地も移され、跡地に養老院「華厳園」ができた。現在は市立図書館等がある。

**橘通り**  
 市立図書館前から垂水小学校のお長屋に通じる。垂水麓を形成する時、最初に出来た通りだという。



**上後馬場、下後馬場、横馬場**  
 垂水小学校の後ろ側にある道路。横馬場は垂水高校の西側。50年ほど前のお年寄りには「馬場頭ん○○どん」「犬之馬場ん○○どん」と個人名の前に馬場名を付けて呼んでいた。この辺りの屋敷が広く、そんな呼び方で通用したのだろう。

(文化財保護審議員・川崎あさ子)